

規模の大きな噴火が起こった場合の災害区域予測図

えびの高原周辺が火口となった場合 霧島市が火口となった場合

新燃岳が火口となった場合 御鉢が火口となった場合

ハザードマップ

環霧島会議
(霧島市・曾於市・湧水町・都城市・小林市・えびの市・高原町)で作成

全世帯配布

噴火で起きる現象

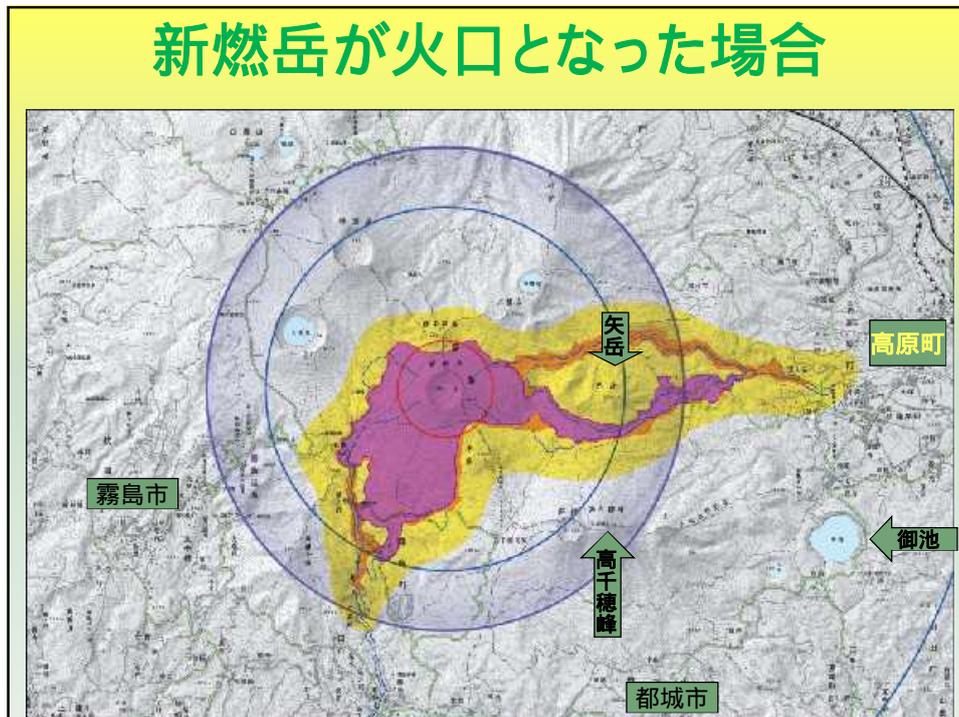
噴石 大噴流・降灰 噴煙 噴火 火山泥流

いざというときの心得

早避難！命を守るために119を呼ぶ 避難場所へは、避難経路を確認して避難する 避難場所へは、避難経路を確認して避難する

霧島市 曾於市 湧水町 都城市 小林市 えびの市 高原町

0995-23-2111(土) 0994-422111(土) 0994-23-1111(土) 0994-35-1111(土) 0992-740111(土) 0995-458111(土) 0995-79-1111(土)





【西麓(にしふもと)地区から】
2011年1月26日15時42分頃

正面に噴煙が見えました。
火口上1500m



【狭野(さの)地区から】
2011年1月26日15時48分頃

高千穂峰が噴煙で隠れました。

16時20分 災害対策本部設置

18時 噴火警戒レベルを2→3に
引き上げられました。(気象庁)

1月26日 地区住民への広報

消防団による広報文

- こちらは、高原町消防団第 部の広報車です。
- 本日、新燃岳が噴火しました。風向きによっては、噴石も予想されますので、外出を控えるようお願いします。



【高原町役場屋上から】火山雷、火柱、地響き、空振が続く
2011年1月27日2時35分頃
3時20分 自主避難者のために ほほえみ館を避難所として開放

新燃岳噴火に伴う避難について

平成23年1月26日午後6時に新燃岳の噴火警戒レベルが3に引き上げられました。

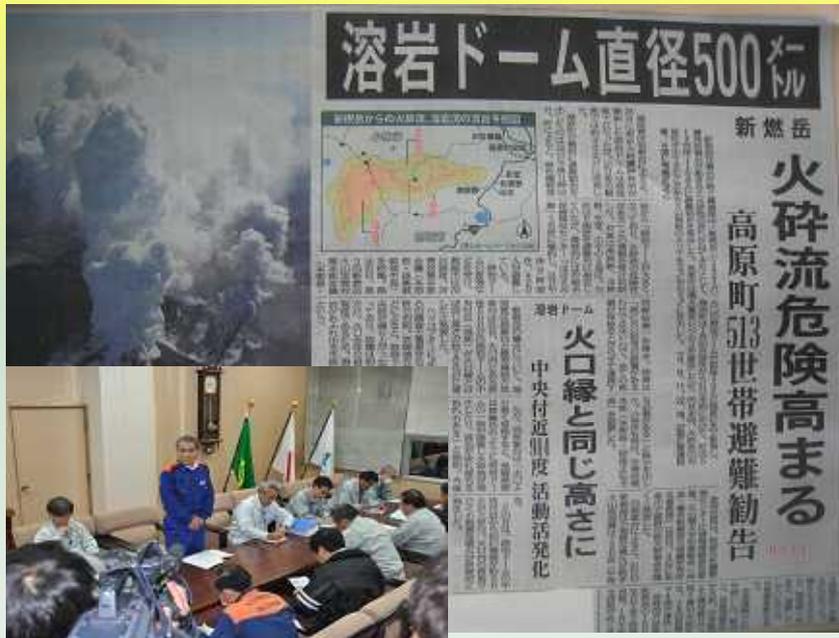
1. レベル3とは・・・入山規制が行われます。
 - レベル3でも身に危険を感じた場合は自主避難をお願いします
避難場所は「ほほえみ館」です。
2. レベル4になったら・・・避難準備となります。
 - 体の不自由な方などについては避難を勧めます。
 - 役場の広報車でお知らせします。
 - 避難場所は「ほほえみ館」です。
3. レベル5になったら・・・避難情報を伝達します。
 - 被災が予想される地域の住民は避難してください。
 - 役場の広報車でお知らせします。
 - 避難場所は「ほほえみ館」です。 (山麓8行政区全戸配布)



噴火が続く新燃岳



溶岩ドーム直径500mに 宮崎日日新聞より



消防団広報資料

広報資料(避難勧告)

こちらは、高原町消防団第 部の広報車です。

地区は避難勧告中です。

「ほほえみ館」に避難してください。

現在、新燃岳の溶岩ドームが大きくなっており、
爆発の可能性があります。

「ほほえみ館」に避難してください。

(1月30日 午後11時50分 避難勧告発令)



【避難所(総合保健福祉センターほほえみ館)

2011年1月31日4時01分頃

避難者は、神武ホールで一夜を過ごす。(612人)

(1月30日 23時50分避難勧告発令)



2011年1月31日
避難勧告地区内の
牛を小林市へ避難
11戸305頭

避難先
西諸畜連(繁殖牛)
小林市菅牧場(繁殖牛)
経済連農場(肥育牛)



2月5日17時20分
ほほえみ館
避難勧告一部解除についての説明。

一部解除の説明を聴く避難者



【ほほえみ館(避難所)】
2011年2月5日 17時37分
荷物を持って久しぶりの我が家へ



【高原役場前】

2011年2月8日

清掃車が何度も往来しました。
幹線道路は大型のロードスイーパー、
狭小な道路と歩道は小型ロードスイーパーで除灰作業を実施。

【皇子地区】

2011年2月9日

家の屋根に積もった灰の除去作業の様子



【狭野地区】

2011年2月8日

回収する灰は非常に多いものでした。
ボランティアによる収集も行われました。



2011年2月15日19時30分
避難勧告の全面解除となりました。

2011年2月17日
災害対策本部会議風景
開催の連続でした。



土石流避難基準（新燃岳火山災害）

次のとおり雨量基準を変更設定する。

平成23年7月1日

高 原 町

避難準備情報発表基準

・先行雨量が、150mmに達し、

1時間35mm以上の雨量が2時間以上継続すると予想されるとき

決定は、気象台、気象協会、ウエザーニュース等の予想データ及び河川の水位、濁り、現地の雨の降り方の状況等を総合的に判断して行うこととする。

避難勧告発令基準

・先行雨量が、150mmに達し、

1時間雨量が35mmに達した後、その後も1時間35mm以上の雨量が予想されるとき

決定は、気象台、気象協会、ウエザーニュース等の予想データ及び河川の水位、濁り、現地の雨の降り方の状況等を総合的に判断して行うこととする。

1時間雨量：1時間の連続した雨量とする。

雨量観測データは、国土交通省観測データにより確認する。

変更後の基準は、平成23年7月1日 から適用する。



平成23年11月15日より、土石流避難基準を噴火前に戻した。

砂防ダムの堆積土砂緊急除去



2011年2月18日

袷川上流(袷川1号ダム)

土石流対策での堆積土砂の緊急除去作業。

降り積もった灰や噴石が雨によって土石流になる可能性があるため、町内にある8ダムで堆積した土砂を国土交通省が除去



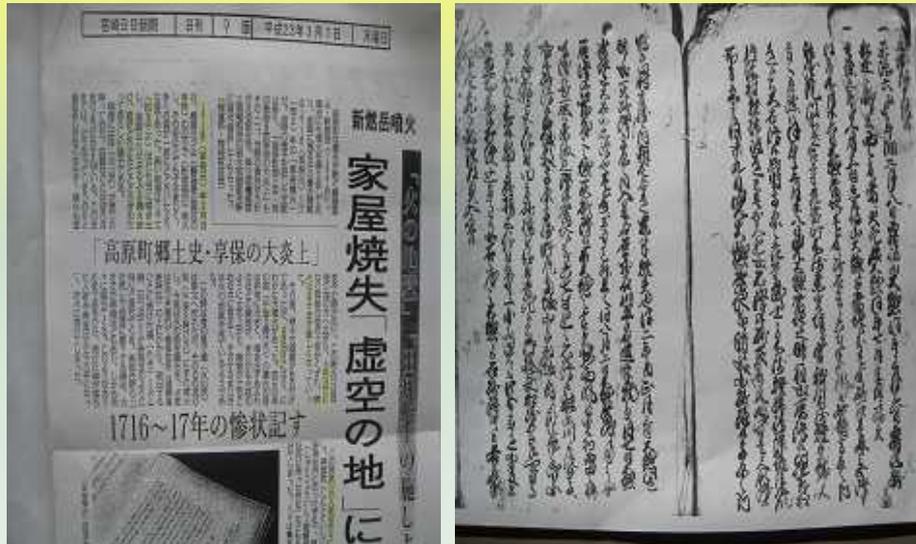
被災地島原からの応援措置(鋼製牛柵設置)
(国土交通省宮崎河川国道事務所提供)



自然との共生(恵みと災害)



300年前との遭遇



情報の重要性(収集・伝達)

- 防災行政無線
- 消防団広報活動
- エフエムラジオ
- 自主防災組織(区長・班長)
- エリアメール



関係機関との連携 未来への贈り物



全国の皆様から頂いた激励、ご支援に
感謝申し上げながら、町民一丸となって
復興に向けて頑張ります。

ご清聴ありがとうございました。

いっしょ、深呼吸。

